

企画・制作=京都新聞COM

# 未来のコンパスProject

## [新たな可能性]

このプロジェクトは、京都のマスメディアが中心となり、京都の人たちの力を結集して、みんなで前向きになれるきっかけをつくる啓発キャンペーンです。特別寄稿【新たな可能性】第2回は、京都国立近代美術館館長の柳原正樹さん、歴史学者の磯田道史さんに寄稿してもらいました。——この先の、その先の、新しい日常へ。

主催=未来のコンパスProject実行委員会 (京都新聞/KBS京都ラジオ/エフエム京都)  
後援=京都商工会議所 (一社)京都経営者協会 (一社)京都経済同友会 (公社)京都工業会

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、日本はもとより世界中に甚大な被害をもたらした。それは、経済のみならず文化芸術まで多くの分野に及び、計り知れない損失を与えたのである。

# 芸術が活性化への起爆剤

柳原正樹 京都国立近代美術館館長



美術館や博物館は、美術館を余儀なくされ、美術家は団体展や個展など発表の場を失った。それは単に、休止ということだけではなく、文化施設に閉鎖する人の生活や、アーティストたちの収入の問題に直結した。コロナは金銭的な面だけではなく、美と親しむ人間の精神的なダメージを与えたのである。また京都では、疫病を退ける願いが込められた祇園祭の関連行事が中止となった。関係者が苦渋の決断をせざるを得なかったことや、地元の人々の気持ちを思うと、心が痛む。

さらにコロナは、戦後最悪の失業率をもたらした。あのリーマン・ショックを上回る打撃を与えたのだ。アメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻は2008年、この年を境に世界は金融危機へと進み、日本もまた不況の時を迎えた。自粛ムードと相まって、美術館に出かける人が激減したことを思い出す。だが、人は英知を結集し、それを乗り越えた。ここ京都も悠久の歴史、戦乱、疫病、遷都といった逆境から幾度も立ち上がり、伝統や美を受け継いできたではないか。

話は少々さかのぼるが、1930年代、米大統領ルーズベルトが大恐慌を克服するために「ニューディール政策」を展開したことは有名だ。ダム建設など土木事業を行ったことは周知のことだが、その一方で、芸術分野にも力を入れたのである。「芸術家支援計画」として、作家、歴史記録、劇場、音楽、美術の五つの国家プロジェクトを設け芸術分野に関わる失業者の救済に当たったのである。

その「連邦美術計画」では、仕事のない美術家を政府が雇い、ポスターや壁画、彫刻などの制作を依頼した。作品は学校や病院に飾られたのである。美術家の雇用

新型コロナウイルスの蔓延で、京都は日本一困る町である。「京都市の家計簿」を見ると、京都市民の年間消費額の52%相当額が観光関連(「2018年京都観光総合調査」)。実に経済の3分の1を観光に頼っている。しかも、国際文化観光都市だけあって、外国客3:国内客7の割合で消費する。そのため、「鎖国状態」が1年以上続くと、京都は経済の約1割を失い、国内客が半減すると、さらにもう1~2割を失う。こんな政令市はほかにない。



別の経済エンジンを持つ必要がある。これを機に、あらゆる分野で「オンラインでも可能」を進めたい。観光・接客業も工夫次第。オンラインの発信で新しい道が開ける可能性もある。携帯やタブレット端末を使ったデジタル技術は感染予防にも活用できる。

オンライン化といえば、教育分野で特に重要である。何があっても、教育予算だけは削ってはならない。京都は幕末維新時に焼け野原になったが、町衆は子どもたちに番組小学校を建てて、教育に力を入れ、見事に復興を成し遂げた。今回、国はマスクの全戸配布をしたが、若い世代に、リモート授業用の端末普及に予算を投じるのも一考である。テレビ授業は未知の可能性を秘めている。危機を逆手に、世界から最高の授業を集め、子どもたちに提供できるかもしれない。もちろん、対面授業が大切なのは言うまでもない。どんな状態でも、経済も教育も持続可能な体制づくりに資源を投じるほかにない。

パンデミック下で活動するには「安心感」が大切である。感染しにくい安心感と、感染しても適切なケアが受けられる安心感である。安心感、知事と市長に構築の重い責任がある。今回、府と医師会が連携し、自動車に乗ったままのPCR検査体制ができた。スピード検査で発見し、早期治療して重症化を防ぎ、感染を広げない。拡大防止には、人権に配慮した上での透明性も大切である。舞妓さん2人の感染を「接客業」でなく「10代の無職」と虚偽の職業で公表する類は、法に照らして許されない。携帯時代は地獄耳に千里眼の世である。隠せないと観念し、信用第一でいくしかない。誰もが感染の可能性がある。患者たたきや差別はやがてわが身に降りかかる。やっつけいけない。感染中の患者の生活支援も大切である。

新型コロナウイルスは罹患者が無症状で市中を動き回り、感染させて歩く可能性がある厄介さがあり、この点は予防法令も想定外であった。最強のクラスター対策が求められる。感染下での経済活動はクラスター処理

# あらゆる分野で持続可能な体制づくりを

磯田道史 歴史学者

新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的大流行)は今後もある。人類は、環境や動植物に立ち入り過ぎ、移動量を激増させた。蒸気船の時代は100年に一度だったが、ジェット機の時代、10~数十年に一度これが起きる。人工知能の利用でワクチン開発の速度は上がるだろうが、生物が相手だから限界があり、1年以上はかかる。だから、自治体も経営者も個人も収入が3割減しても1年以上持ちこたえる生活設計や備えが要る。特に、京都市は財源確保や支出の根本的な見直しを強いられるだろう。

京都は幸い、大学や研究開発関連の企業が多い。観光のほかに、医薬やデジタル・コンテンツ産業など、知的産業を伸ばし、所得・税収・福祉をもたすために、

©1970年岡山市生まれ。慶応義塾大学院卒。博士(史学)。茨城大助教授、静岡文化芸術大教授などを経て、現在、国際日本文化研究センター准教授。著書に「武士の家計簿」、「天災から日本史を読みなおす」(中公新書)、近著に「歴史とは戦である」(講談社)。

は、5千人とも1万人ともいわれている。政策の目的は失業美術家の救済とともに多くの人に美術と接する機会を提供することによって、不況で沈む国民に希望と勇気を与えることにある。

そのプロジェクトは「抽象表現主義」と呼ばれる新しい美術を生む。また、街角に美術作品を設置する「パブリック・アート」を確立させた。さらに、ブロードウェイのミュージカル、ハリウッドの映画産業が成長する基礎ともなったのである。

つまり、芸術が社会を活性化させる起爆剤たり得ることを、歴史が実証している。今、そのことを強く思うのである。

コロナが与えた教訓はいくつもあるが、「3密」という言葉を生み、クラスターやテレワーク、ソーシャルディスタンスというカタカナ用語を普及させた。そして、「新しい生活様式」という方向性を示したのである。従来のように集客のみを求めようような企画展は、密のことを考えると今後できないであろう。さらに、観光振興という視点も見直さざるを得ないと思うのである。「after with コロナ」を見据え、どのような戦略転換を図るのか、今まさにそれが問われている。

それは、ピンチをチャンスに変えていく、ということである。リーマンの折、多くの企業がし、構造改革に取り組んだように、今こそ先送りしていた問題に立ち向かう好機なのではないだろうか。

美術館も博物館も、本来の使命をもう一度振り返るべき時が来たかもしれない。公に開かれた機関として、社会教育の役割を担うことであり、人々に明日の希望を与えられるような企画展を心掛けることであろう。「新しい美術館様式」を求め、さまざまな模索を始めなければならぬ。

力にかかっている。検査で患者を発見した場合、面倒でも広く検査する自治体になっていなければならない。バス・地下鉄・タクシーも最新技術を導入し、「感染防止、抗菌仕様」にすべきである。不特定多数が集まる3密空間の安心感も課題である。特に国際会議用の空間は、換気や紫外線照射などを組み合わせ、人の不在時に滅菌消毒が容易なものにおかねば、パンデミック後、経済効果の高い国際会議を逃すことになりかねない。やることは、いっぱいある。とにかく新しい行動を起こさなければならない。

私たちはこの困難とどう向き合うか  
この先、日常はどうなっていくのか  
その先、新しい日常がやってくる

## ◎未来のコンパスProject「はじめる一歩」宣言



私はかつて師匠に、「我慢して、我慢して、最後に大きな成果が得られる」という言葉をもらい、それを胸に試合やトレーニングに臨んでいます。困難に耐えた先の新しい生活はきっと今より強く、よりに人に優しくなれるようにしてけると信じています。

[Bリーグ 京都ハンナリーズ・内海慎吾]



家族や友達との時間、働く時間、何気なく過ごしていたその一瞬一瞬が大切に幸せな瞬間だったと心から感じました。応援して下さる人みんなに笑顔をお届けできるように、恩返しができるように、今の私にできることを全力で頑張ります!

[タレント・芦田美歩(サンズエンタテインメント所属)]



試合や練習で苦しい場面の時だからこそ強くなれる、これ乗り越えた先に喜びが待っていると信じているから乗り越えています。私の走りを見て元気をもらえたと喜んで下さる人がいて下さるので、周りの人が笑顔になる走りができるよう頑張ります。

[ワコール女子陸上競技部・一山麻緒]

◎各界で活躍する方々の「はじめる一歩」宣言を毎日更新。あなたも「はじめる一歩」をシェアしませんか。Twitter/Facebook:「未来のコンパス」で検索



## 新しい日常を共有しよう。

世界のいろいろなことが変わりつつある今  
私たちが歩もうとしているのは、これまでなかった新しい地図に描かれる道。  
期待と同じくらい不安もいっぱいありますが  
一人一人の小さなチャレンジが、きっと道を切り拓くコンパス(羅針盤)になるはず。  
まだ見ぬ地図、まだなき道を、みんなで歩いていく「未来のコンパスProject」。  
私たちと一緒に新しい日常へ。「はじめる一歩」しませんか。

京都から皆さんに元気を届けたい!! 公式Twitter・Facebookでは、京都ゆかりのあの人やこの人の「はじめる一歩宣言」を公開中。皆さんも新しい日常として実践したり、挑戦しようとしている「はじめる一歩」を #みらコン を付けて投稿してください。(9月30日まで)

主催:未来のコンパスProject実行委員会(京都新聞・KBS京都ラジオ・エフエム京都) 後援:京都商工会議所(一社)京都経営者協会(一社)京都経済同友会(公社)京都工業会 協力:(株)日商社

- 私たちは「未来のコンパスProject」を応援しています
- アサヒビール株式会社 茨木屋 石清水八幡宮 上原成商事株式会社 打田漬物商工業株式会社 裏千家今日庵 株式会社NTTドコモ NTT西日本 京都支店 大阪ガス株式会社 医療法人仁愛会 川村産婦人科株式会社キッズカンパニー 株式会社響映 京懐石美濃吉 京都経節株式会社 医療法人啓信会 京都市きづ川病院 株式会社京都銀行 学校法人京都産業大学 京都サンダー株式会社 京都市民共済生活協同組合 京都信用金庫 京都青果合同株式会社 京都中央信用金庫 株式会社京都東急ホテル 京都府瓦工事協同組合 京都薬品工業株式会社 京料理 六盛 清水寺 キリンビール株式会社 京滋支社 株式会社きんでん 京都支店 臨済宗大本山 建仁寺 株式会社公益社 有限会社洗春陶苑 護王神社 株式会社小嶋商店 浄土宗大本山 金戒光明寺 株式会社サン・クロレラ ジーク株式会社 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹 天台宗 寂光院株式会社しょうざん 浄土真宗本願寺派 株式会社SCREENホールディングス 星和電機株式会社 総本山 醍醐寺 株式会社大藤 株式会社大丸松坂屋百貨店 学校法人和学園 大和ハウス工業株式会社 京都支社 株式会社高島屋京都店 株式会社辻利兵衛本店 株式会社天空PR 土井志ば漬本舗 株式会社トーセ 株式会社ドライブ・ドア 中沼アートスクリーン株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 NISSHA株式会社 日新電機株式会社 日本公認会計士協会 京滋会 日本生命保険相互会社 京都支社 日本たばこ産業株式会社 学校法人二本松学院 京都美術工芸大学 総本山 仁和寺 野村證券株式会社 京都支店 株式会社花市商店 株式会社日立製作所 宗教法人平等院 富士ゼロックス京都株式会社 佛教大学 大本山天龍寺塔頭 宝蔵院 保津川遊船企業組合 舞妓の茶本舗 株式会社増田医科器械 三井不動産株式会社 京都支店 壬生寺 株式会社村田製作所 村山造酢株式会社 彌樂自動車株式会社 株式会社ローパー都市建築事務所 株式会社ロマンズ小杉 株式会社ワコール